

富山大学教養総合科目「富山から考える震災・復興学」

公開授業

東日本大震災から10年を迎えて

東日本大震災から10年を迎えようとしています。富山大学では震災・復興・放射線に関する情報発信、学部・教養教育での講義を積み重ねてきました。学内外の様々な分野からの講師によるアクティブラーニングを取り入れた授業の一部を広く公開します。多様な観点から震災後の10年を振り返り、今後の10年を考えます。さらに、1月26日にはシンポジウムを伴う公開拡大授業を行います。学生、教職員、一般市民の方、ふるってご参加ください。

連続公開授業(場所:富山大学五福キャンパス 共通教育棟D22教室)

2020年11月24日(火) 16:30-18:00



近藤 隆
富山大学

放射線と医療

2020年12月1日(火) 16:30-18:00



大島賢一
龍谷大学

原子力発電のコストと負担

2020年12月8日(火) 16:30-18:00



桑垣 豊
京都産業大学

放射線、感染症、経済変動
— 数少ない数値データから推理する —

2020年12月22日(火) 16:30-18:00



初澤敏生
福島大学

福島の現状

オンライン(zoom)でも会場でも参加できます。参加希望の方は下記URLまたは右のQRコード掲載の申し込みフォームより申し込み願います。オンラインの場合、聴講のみになります。新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場での参加希望者多数の場合、先着順で締め切らせていただく場合があります。

<http://www3.u-toyama.ac.jp/tulip/sinsai2020/>



予告

シンポジウムとアクティブラーニング

「大震災から10年とこれからの10年(仮題)」

2021年1月26日(火) 16:30-19:40 場所: 富山大学五福キャンパス(教室未定)

本企画は令和2年度富山大学学長裁量経費(学長 齋藤滋)の援助を受けています。

後援: 六花出版

問合せ: 富山大学経済学部 大坂洋 osaka@eco.u-toyama.ac.jp